

岡山済生会総合病院様のケース



薬剤部
川上 恭弘先生



MONITAROは忙しい薬剤師に特におすすめです。

MRは担当変更が多い

自分が連絡を取りたいMRを探す時に、そのMRがもう異動していることも多いです。このような時にはMONITAROの「担当リスト」が役に立ちます。ここには会社名だけでなく**担当領域も表示されている**ので、希望のMRかどうかを画面上で確認し、その方に電話をしたりメッセージを送ったりすることができます。MRからも特に不便とは聞いておらず、採用品目がほとんど無いような小さな会社を除けば、**全てのMRに利用してもらっています。**

アポイント調整で自分の時間をコントロール

アポ無しで来るMRに職員が時間を合わせていると業務効率が下がってしまうので、アポの無い方には「MONITAROで必ずアポを入れてくださいね。」とお伝えし、お帰りいただいています。MONITAROでは希望日および、1面談15分単位のような枠設定も簡単にできることから、MRが職員の時間に合わせて訪問をする形となります。**自分のスケジュールを自分自身でコントロールできる**ことが大きなメリットです。

医局でもMONITAROを活用しています

当院では、薬剤部だけではなく医局でもMONITAROを利用しています。MRが医師に面会する場合は医局秘書に対してアポイント申請をする必要があります。これにより**長時間の医師待ちがなくなりました。**MONITAROのチェックインシステムにより、院内に遅い時間まで残っているMRを把握することもでき、事務部門では院内セキュリティの観点でも役立っています。